

京都府立福知山高等学校

三和分校

MIWA Branch PTA Letter

P T A だより



京都府立福知山高等学校三和分校PTA 令和7年12月19日発行



体育祭



文化祭



トライ活動



1年生授業



3年 茶道体験



PTA会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は三和分校の教育の充実・発展に御協力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、突然ですが『三和分校』の「三和」の語源を御存知でしょうか。「みわ」という響きは美しく、どこか愛らしさを感じられます。また、「和」は平和や調和、親和などを連想させる縁起の良い字で、学校名としても親しみやすいと感じています。

全校生徒52名でスタートした令和7年度も、残り3カ月余りとなりました。本年度も行事や教育活動に御協力いただき、誠にありがとうございました。2学期は大きな学校行事を通じて、生徒の頑張りを保護者等の皆様に見ていただくことができました。

10月3日実施の体育祭は、雨を心配しながらの開催でしたが、三和分校らしい温かさや活気に満ちた行事となりました。生徒は競技に真剣に取り組みつ、学年や学科をこえて声を掛け合い、仲間と共に楽しむ姿が印象的でした。PTAの皆さまには、熱中症対策として飲料水の配付に御協力いただき、生徒が安全に競技へ臨む大きな支えとなりました。心より感謝申し上げます。

11月6日・8日の文化祭では、小春日和の穏やかな陽気の中、農業科・家政科それぞれの特色を生かした展示・発表・販売実習が行われました。農業科のミニトマト研究では、収穫量や収益向上をめざし、多角的な視点で探究した成果が発表され、大変興味深い内容でした。各科の販売実習は今年も大人気で、農業科とのコラボには長い列ができました。事前のマナー講習の成果も現れ、明るい声で「いらっしやいませ」「ありがとうございました」と接客する姿がとても頼もしく感じられました。また、保健・環境美化委員会の展示では、近隣のハザードマップや防災備蓄、災害用トイレの紹介など、災害への備えを考える有意義な内容となっていました。

さらに、PTAの皆さまには飲み物の販売を担当していただき、生徒の活動を温かく支えていただきました。会場は明るい笑顔と活気に包まれ、三和分校らしい文化祭となりました。体育祭・文化祭とも、昨年度を大きく上回る多くのPTA会員の皆さまに御来校いただきました。2つの行事の成功を支えていただいた、PTAの皆さまに感謝申し上げます。

今後も、生徒が自らの力を信じ、仲間と共に「ゆっくり・確実に」に成長できるよう、三和分校らしい教育活動を大切に進めてまいります。引き続き、温かい御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、冒頭の「三和」の語源についてですが、三和分校は1949年、福知山高等学校細見分校として開校し、1955年、細見・菟原・川合の3つの村が合併して三和村が誕生したことにより、現在の「三和分校」という名称になりました。3つの村の思いが込められた名称です。学校においても「生徒」「保護者等」「教職員」という3者が主体となり、学校を創り上げています。三和村が生まれたときの思いを感じ、『和』を尊び、大切にしながら、生徒の「ゆっくり・確実な学び」をともに支えていける存在でありたいと感じています。今後とも三和分校の応援をよろしくお願いいたします。



体育祭



文化祭

主な大会 コンテスト等

《第7回ダルメインWorld マーマ
レードアワード&フェスティバル
Japan》

カテゴリー 高校生のマーマレード

銅賞

| | | |
|--------|--------|-------|
| 塩見晃央 | 島村 柚輝 | 下森 依咲 |
| 十倉 朔 | 内藤 樹里 | 内藤 望愛 |
| 南條 哉真斗 | 原田 真優心 | 平塚 紗綾 |
| 美園 優衣 | 四方 剛 | 高木 結星 |
| 能勢 結里愛 | 松浦 なぎ | 井爪 結花 |
| 大木 知美 | 四方 璃音 | 吉田 茉生 |
| 向井 なな | | |

《京都府高等学校定時制通信制
生徒生活体験発表会》

奨励賞

池田 竜介

中丹文化芸術祭

《特選》

風鈴が始めの令園本開く

《入選》

夏休み自転車とばす部活動
友一人今日は欠席せみしぐれ
ホタル飛ぶ光るとまると星のよう
見上げれば憂さも消去る揚花火
たくさんの笑顔あふれる夏祭り
手花火の尽きるあかりが園に散る
日焼け止め分厚く塗って遊園地

農業科は、現在33名(1年7名、2年10名、3年8名、4年8名)の在籍です。日々の学校での学習の他にも地域の方と連携をして様々な活動を行っています。新型コロナウイルスによる活動の制限が解除されたこともあり、従来行っていた活動も徐々に復活してきています。

4月9日の野菜苗の販売においては、生徒達が一般のお客様に、品種や栽培時の注意点などを説明する場面もみられるようになりました。販売日の初日のみですが、家政科とのコラボピザ(農業科の野菜を提供)の販売も始めています。また、10月末にはタマネギ苗の販売も行っています。このタマネギ苗の販売は100本を1束にしていますが、生徒たちは集中して、本数の間違いがないよう100本を数えて準備をしています。

また、福知山市、関係団体、企業にも協力いただきゴーヤの苗やキキョウの苗の栽培も行っています。生徒たちは、種まきから育苗、引き渡しまで、それぞれの場面で活躍をしていてくれています。市民の方にも大変喜んでいただけており、生徒たちも笑顔で対応してくれています。

この他にも、三和学園(小学校)、三和こども園での野菜作り・花作りの交流、福知山駅北口公園にある花時計、芦刈交差点近くの花壇への植栽なども地域の方と一緒にしています。

校外での販売として、みわこどもまつり・農大マルシェ、さらには京都府庁での販売も行っており大変好評を得ています。ビジネススキルやコミュニケーション能力を高める場としても続けていきたいと考えています。

三和分校の農場は、ガラス温室とビニールハウスが主な実習場所になりますが、一昨年頃から、春先より気温の高い日が多くなり、野菜の栽培等への影響が出てきています。成長が早く進みすぎて、本来必要な時期に収穫量が減少してしまう。夏以降については、気温が高いため発芽しない、収穫時期が遅れてしまうなどの影響がすでに出始めています。このような中でも、生徒たちは暑い中、寒い中、一生懸命実習に取り組んでいます。この経験が進路先でも活かされているように思っています。今後とも農業科の活動に御理解、御協力いただきますようお願いいたします。



秋の苗販売



三和こども園交流



京都府庁販売実習

家政科より 『 先輩から後輩へ 』

家政科 宇野 佳代

今年度、家政科は10名の新生を迎え、19名でスタートしました。家政科の生徒全員が所属する「家庭クラブ」では、役員を中心に様々な取組について考え、学年の枠を超えて活動しています。

先日文化祭では、それぞれの分担で上級生が下級生に教え、見守り、サポートする姿が見られました。衛生面に配慮し、限られた時間の中で作業を進めることは大変な緊張を伴いますが、どのパートでも上級生がリードし、下級生が一生懸命ついていっていました。小さなアクシデントが起こった場合も冷静に対処し、日々の準備を確実に進めていく姿に成長を感じました。

専門学科の実習は単なる「ものづくり」ではありません。その題材(今回はプリン・みわぼた・ピザの製造・販売)を通して、日頃の学習でつけた「知識・技術」を活用し、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けることをねらいとしています。文化祭という大きな学校行事を通して、これらのねらいに到達する生徒の姿を見ることができ、私たちは楽しさややりがいを感じています。

上級生が「どんな言い方をすれば後輩に伝わるかな?」と考え、「後輩に教えるのは難しいけれど、やってみよう。」とチャレンジする。下級生は上級生の言葉を一生懸命聞き、「はい」という返事で「自分が理解していること」を伝え、わからないことを質問する。そして、「自分もいつか先輩みたいになりたい。」と憧れ、先輩の姿を見て成長していく。

家庭クラブ活動で先輩から後輩へ受け継がれていく「もの」や「こと」を大切にできるよう、今後も様々な働きかけをしていきたいと考えております。引き続き、会員の皆様の御理解と温かい御協力をよろしくお願いいたします。



家政科ふれあいカフェ



販売マナー講習会



お茶エキスポ

『子供の頑張る姿』

保護者

三和分校農業科2年生の息子は、暑い夏の日も寒い冬の日も、苗植えや間引き、収穫、そして販売に至るまで、農業科での授業の様子を楽しそうに話してくれます。授業の一つひとつに達成感があるようで、日々の経験が息子にとって大切な学びになっていると感じています。学校で育てた野菜の販売があると、家庭でもその成果を味わうことができます。先日、息子が購入してきたネギでネギ焼きを作りました。とれたてのネギは新鮮でシャキシャキしており、甘みと香りが豊かで、味わいがとても濃く、家族5人で「本当においしいね」と話しながらいただきました。お店で買うネギとはまた違った風味があり、特別なものを感じられました。

息子は今年3月から、社会勉強の一環としてアルバイトを始めました。スタートする際には、「どんなことでも一生懸命頑張ったら、それが勉強になるよ」と声を掛けました。現在は仕事場でさまざまな仕事を任されており、その中には空き缶やペットボトルの分別作業もあります。ときには、においの強いゴミが混ざっていることもあり、思わぬ苦労も多いようですが、限られた時間の中でしっかりと仕事を終えようと努力している姿に、成長を感じています。学習とアルバイトを両立させながら毎日過ごすのは簡単ではないと思いますが、そうした積み重ねが息子の力になっていくと信じています。親として、これからも温かく見守り、そっと背中を押していけたらと願っています。



『文化祭に参加して』

保護者

秋晴れの中、11月8日に文化祭が開催されました。名物のみわちゃんプリン・みわぼた・コラボピザ3種・焼き野菜、そして生徒たちからのリクエストでしょうか、フランクフルトまで並ぶ豪華なラインナップ！すべて美味しくいただきました。大量に購入した新鮮野菜は、夕食のお鍋へと姿を変え、家族みんなのおなかを幸せで満たしてくれました。

販売を担当してくれた生徒たちは、少し照れながらも、しっかりと顔を見て丁寧に接客しており、その姿に感心しました。周りも生徒・先生・保護者や兄弟、そして卒業生の先輩方まで笑顔があふれていました。私自身も飲み物販売を通して、たくさんのお客さんと触れ合うことができ、仲間になれたような、とても楽しい体験となりました。(息子は苦笑いですが……) 祖父母も今回初めて参加し、ずっと見守り心配してきた孫が、自分の役割を果たしながら楽しんでる姿を見て、安心することができたようです。高校生活も折り返しを迎え、残りわずかとなりましたが、三和分校だからこその体験、与えられる経験を糧に、さらに成長してくれることを期待しています。苦手なことにも挑戦する勇氣、傷つくことを恐れない強さを手に入れてほしい——そう欲張ってしまうパワフルな母の調整を、先生方どうぞよろしくお願いします。



櫻井 和望

3級 文書デザイン検定

大槻 康希
鍵本 琉偉
國時 寿斗
仲川 朋来
細見 大晴

荻野 翔太
木下 太誠
柴田 蓮
木場 莉央

小型車両系建設機械
特別教育修了

塩見 晃央
内藤 樹里
南條 哉真斗

十倉 朔
内藤 望愛
原田 真優心

【食物調理3級】

令和7年度第61回
全国高等学校家庭科
技術検定

資格取得



2学期のPTA活動

9月24日(水)第2回PTA役員会
10月3日(金)体育祭
11月6日(木)8日(土)文化祭
11月13日(木)郡部定時制通信制教育研究会
PTA研修会(グンゼ博物館)

学習発表会・PTA研修会・PTA総会の御案内

令和8年2月7日(土) (振替休日2月9日)

9:25~12:30(予定)

学習発表会:課題研究・トライ学習の成果発表
PTA総会:事業報告等

*詳しい時間帯等は、後日お知らせします。